

2010年7月20日開催 第550回 番組審議会

■ 出席委員

荒巻裕委員長 櫻井美幸副委員長 上田理恵子委員 神谷徹委員
黒田勇委員 齊藤善也委員 東野博昭委員

■ 毎日放送出席者

河内社長 田中専務 上田専務 松島常務 河村編成局長 寺西制作局長
梅本報道局長 熊ラジオ局長 立野コンプライアンス室長
上野プロデューサー 藤島ディレクター

◆ テレビ番組「情熱大陸」

「プロサッカー選手・遠藤保仁」 6月6日（日）23時00分～23時30分

「サッカー緊急特別編」 7月18日（日）23時15分～23時45分

第550回番組審議会は7月20日に開かれ、テレビ番組「情熱大陸」6月6日放送「プロサッカー選手・遠藤保仁」と7月18日放送「サッカー緊急特別編」の2本について意見交換しました。

各委員の主な意見は次の通り。

- * すべての番組への出演依頼を断っていた遠藤選手に密着取材して、子供からメダルをもらうシーンまでとらえていた。これは間違いなくスクープなんだという気がした。
- * 人物ドキュメンタリーでは、結局家族との関係が落としどころになっているように見えてしまう。何か逆はないのかなと思う。遠藤の技やら考え方を徹底的に追求することで、遠藤の人生を見出すような手法もあってもいいのかなと思った。
- * 密着番組は好きだけど、出演者がカメラを意識しているのと、勝手に撮ってくださーいというのと二通りあると思う。今回の番組は、自然体な感じがよく出ていて、リラックスして見られた。
- * 試合中のシャワーのシーンは、ほとんど喜劇的で、超現実的というか、あんなところでうろろできる人柄、他の選手とか、監督との関係が感じられて、まさにテレビ的な表現だと思う。

* 家族が支えてくれてというのが理想でしょうけど、もうちょっと家族の苦勞とか、本音とかに踏み込めると違和感が消えたのかと思う。家族があるから頑張れるんだというのとは違う落とし方ってないのかなと感じた

* 登場している方本人の言葉でこそ聞きたい。それがあんならナレーションは、説明不足になっても、あまり要らないんじゃないのかなと感じた

* ドキュメンタリーの良さには、取材班の着眼力のよさと長い期間の取材の努力で、取材される人との信頼関係をどれだけ築けるかという、この2つがポイントになっているように思う。この2つが最初の作品では大変よく実を結んでいたと思う。

◆2010年度日本民間放送連盟賞近畿地区審査(ラジオ部門)で、「上泉雄一のええなあ！」が最優秀賞を受賞したことをラジオ局長から報告した。

以上